

# 甲賀市の橋梁長寿命化修繕計画

## ○背景・目的

本市が管理する橋梁は、平成 24 年度現在、684 橋の橋梁を管理しており、これまでに点検を実施した、橋長 15m以上の橋梁(167 橋)について検討しました。

橋長 15m以上の 167 橋のうち、建設年度を 50 年以上経過している橋梁は、全体の約 7%(12 橋)を占めており、20 年後の平成 44 年度には約 60%(101 橋)に増加し、橋梁の高齢化が急速に進行します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の「事後保全型」の維持管理を行なった場合、橋梁の修繕および架替えに要する費用が増大する事が懸念されます。

コスト縮減のためには、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う「予防保全型」の維持管理へと転換し、橋梁の長寿命化を図ることが必要となります。

そこで本市では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

2012 年度 12 橋(7%)    2032 年度 101 橋(60%)

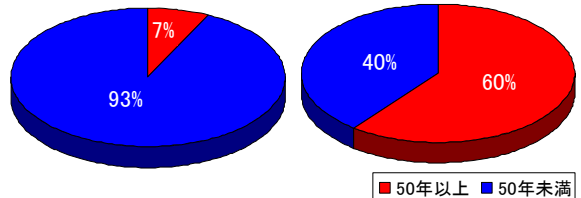
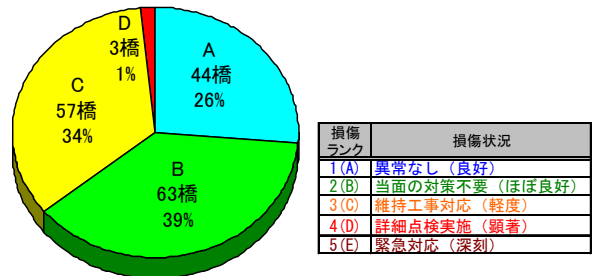


図 建設から 50 年経過した橋梁の割合



損傷ランク	損傷状況
1(A)	異常なし(良好)
2(B)	当面の対策不要(ほぼ良好)
3(C)	維持工事対応(軽度)
4(D)	詳細点検実施(顕著)
5(E)	緊急対応(深刻)

図 橋長 15m以上の橋梁の健全度

## ○橋梁管理の基本方針

本市では、計画的に予防保全を行うため、橋梁点検を実施するとともに、右図のようなサイクルで橋梁の維持管理を行います。

### 1) 健全度の把握に関する基本方針

橋梁長寿命化修繕計画では、橋梁の現状を把握し、将来の状態を予測することでかかる費用を推測します。

本市では橋梁の健全度を把握するため、橋長 15m以上の橋梁(167 橋)について点検を行ってきました。

継続的に点検を実施していく事で、損傷を早期発見するとともに、点検データを蓄積することで計画の更なる精度向上を目指します。

### 2) 日常的な維持管理に関する基本方針

定期点検だけでなく、日常的にパトロール車による走行面の変状についての点検を行います。

今後は、橋長 15m未満の橋梁(517 橋)について、点検を行っていきます。

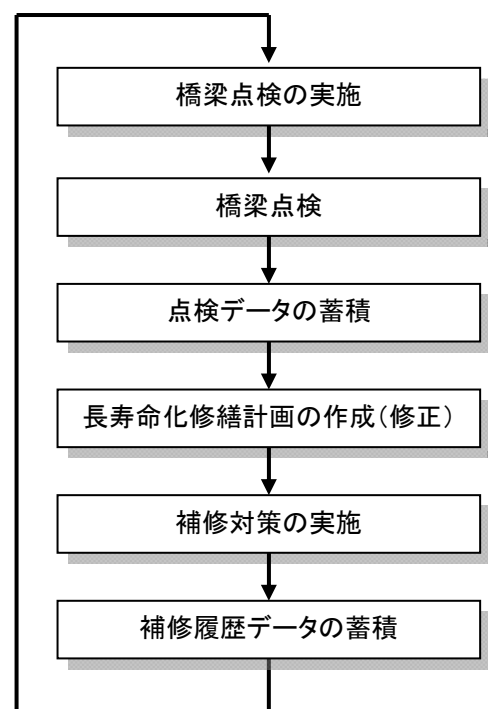


図 橋梁維持管理サイクル

### ○長寿命化修繕計画による効果

策定した長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の管理により適切な時期に対策を実施した場合、事後保全型の管理を行った場合と比べて、今後50年間で、222億円→80億円(▲142億円)となり、全体の約6割のコスト削減効果が見込まれます。

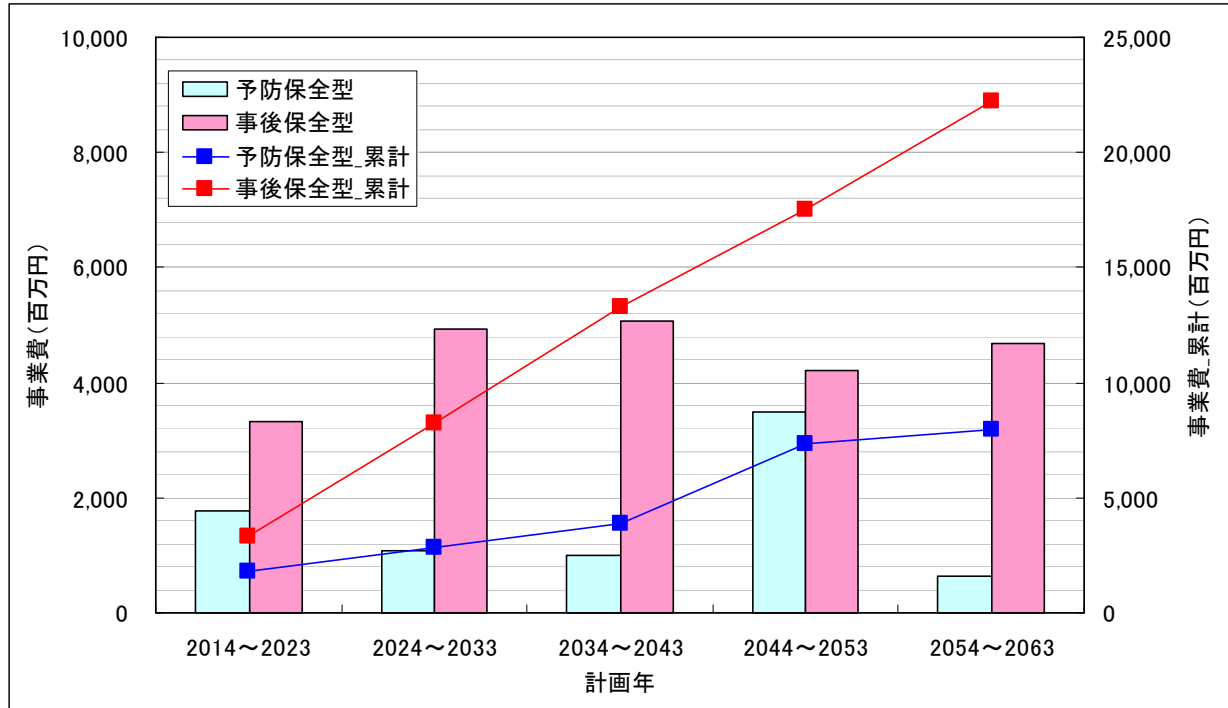


図 長寿命化修繕計画による効果

「甲賀市橋梁長寿命化修繕計画」の策定には、高度な知見・技術の導入や第三者による計画内容の評価により、実効性・実現性の高い長寿命化修繕計画を策定するために、学識経験者からの意見聴取を行っています。

甲賀市役所 建設部 建設管理課  
住所：甲賀市水口町水口6053番地  
TEL：0748-65-0722